

## 所長の部屋



### 所長の健康アドバイス

健診結果への対応 (16) 便検査

[2019年11月]

今回は検便検査についてです。健診の検便では、潜血すなわち見た目に分からない便中の血液を調べています。通常は陰性です。

以前はこの検査は、動物の血液でも陽性に出ていました。しかし現在では、ヒトのヘモグロビンを特殊な方法で調べているので、主に大腸から肛門にかけての出血が検出されます。出血量が多い場合は、大腸より上流の小腸や胃などの出血でも、陽性になる場合もあります。

陽性になった場合は、大腸癌、ポリープ、炎症、痔などが疑われます。病院を受診して大腸内視鏡検査（CF）を受けてください。私の経験では、健診で便潜血陽性の人100人にCFを実施した場合、1~2人程度に大腸癌が見つかっています。また50人程度にポリープや炎症や痔が見つかります。残りの50人程度は、大腸を隅々まで見ても異常なしです。

よく病院の内科外来で、「健診で便潜血陽性だったがCFが嫌なので、もう一度検便をして欲しい。」と言われるのですが、これはお勧めできません。というのも、たとえ大腸に進行した癌があっても、便潜血が陽性になるのは70~80%程度とされているからです。

大腸進行癌の70%で便潜血陽性となるとした場合、大きな大腸癌があっても1回の検便で異常なしと言われるのは、100人のうち30人です。この30人に2回目の検便検査をすると、2回目も陰性になるのは $30 \times 3/10 = 9$ 人です。3回目まで検査しても $9 \times 3/10 = 2.7$ 人の大腸癌患者が、3回とも便潜血陰性に出るのです。ましてや早期大腸癌では、もっと便潜血は陽性に出にくいのが現実です。一度でも便潜血陽性と出たら、CFを受けてください。

乙訓保健所長 時田 和彦

「所長の部屋」 バックナンバー・シリーズタイトル  
健康寿命を延ばす（メタボリック症候群についての話）  
がんを防ぐ（食道癌、胃癌、大腸癌の話）  
医者のお話（病院救急室の話）  
健康診断結果への対応（健診で異常値が出たときの話）  
健診で異常あり